

高学年テキスト③ 2025.6.10

【オフサイドとは】

オフサイドとは、()の選手が、()より、ゴールラインに近い場所に、いる時・いた時に、ボールを受けたり、ボールに関わったりした場合、オフサイドという反則になる。

オフサイドラインになるもの。3つ

- ①
- ②
- ③

この3つの中で、一番、()に近いものがオフサイドラインとして採用される。

オフサイドの判定のルール

- ①オフサイドの判定のタイミングは、オフサイドポジションにいる選手がボール関わるその1つ前の攻撃側の選手が()を触った瞬間が、オフサイドを判定するタイミングである。
- ②オフサイドポジションでボールを触った・関わったとしても、その1つ前の攻撃側の選手が、ボールを触った瞬間にオフサイドラインよりゴールラインに近い場所に()場合、オフサイドにはならない。
- ③オフサイドポジションにいた選手にボールが飛んで行ったとしても、その選手が()、そのまま()が取ったり、そのままラインから外にボールが出たりと、()の選手が不利にならない場合は、オフサイドを取らず、試合を続行する。

- ④オフサイドの反則になった場合は、()側の()で試合を再開する。

再開する場所はオフサイドが成立した場所となる。

オフサイドが成立した場所とは、主に2つ。

1つは、オフサイドの選手がボールを()所。

もう1つは、オフサイドポジションの選手が動いている時に、明らかにオフサイドとなる場合は、主審は笛を吹き、その場合は()場所が、成立した場所となる。